



福県医発第1184号(地)

平成24年 8月 2日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会

会長 松田 峻一良

(公 印 省 略)

平成24年度院内感染対策講習会（厚生労働省主催）の開催について

標記の件につきまして、厚生労働省医政局長より福岡県保健医療介護部長を通じて、別紙のとおり通知がありましたのでお知らせいたします。

近年、MRSA（メチシリン耐性黄色ブドウ球菌）、VRE（バンコマイシン耐性腸球菌）、多剤耐性緑膿菌、多剤耐性アシネトバクター及びノロウイルスをはじめとした各種の病原体に起因する院内感染の発生や、医療技術の高度化による感染症に対する抵抗力が比較的低い患者の増加などから、医療機関においては、最新の科学的知見に基づいた適切な院内感染対策の実施が求められています。

院内感染対策については、個々の医療従事者ごとに対策を行うのではなく医療機関全体として取組むことが重要であることから、全ての職員に対する組織的な対応方針の指示や教育等を行うことが必要です。

本講習会は上記の点を踏まえ、院内感染対策の一環として、医療施設等に勤務する医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師を対象に、院内感染対策について理解を深めることを目的として、別添「平成24年度院内感染対策講習会実施要領」により実施されるものです。

つきましては、貴会におかれましてもご丁知いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、対象となります医療機関につきましては、福岡県保健医療介護部医療指導課より直接通知がなされていることを申し添えます。

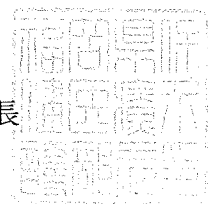
24医指第1332号

平成24年7月31日

社団法人福岡県医師会長
社団法人福岡県歯科医師会長
社団法人福岡県病院協会长
社団法人福岡県私設病院協会长
社団法人福岡県精神科病院協会长
全国自治体病院協議会福岡県支部長

殿

福岡県保健医療介護部長
(医療指導課)

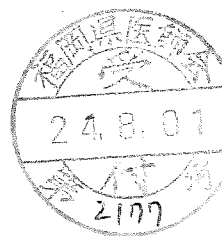


平成24年度院内感染対策講習会（厚生労働省主催）について

本県の保健医療行政につきましては、平素から格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

標記の件について、厚生労働省医政局から、別添（写）のとおり「平成24年度院内感染対策講習会実施要領」に基づき実施される旨の通知がありましたのでお知らせいたします。

なお、対象となる医療機関に対しましては当課から通知することを申し添えます。

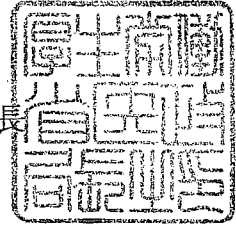




医政発0720第3号
平成24年7月20日

各都道府県知事 殿

厚生労働省医政局長



平成24年度院内感染対策講習会について（依頼）

標記については、院内感染対策の一環として、医療施設等に勤務する医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師を対象に、院内感染対策について理解を深めることを目的とした講習会を別添「院内感染対策講習会実施要領」により実施することとしたので通知する。

については、各医療施設等に本講習会の趣旨を十分周知するとともに、受講希望者の推薦について、貴職においては、事務連絡を参考に取りまとめの上、平成24年8月24日（金）までに提出願いたい。

なお、昨年度同様、講習会の目的を3つに分け、それぞれ別に実施することとし、講習期間、講習会場については、別記のとおり都道府県ごとに指定しているのを念のため申し添える。

また、独立行政法人国立病院機構に属する病院（旧国立病院・療養所）及び独立行政法人国立高度専門医療研究センター（旧国立高度専門医療センター）に対しては貴職より通知願いたい。厚生労働省所管の国立ハンセン病療養所に対しては貴職よりの通知は不要であるのでご了知願いたい。



平成24年度院内感染対策講習会実施要領

1. 目的

近年、MRSA（メチシリン耐性黄色ブドウ球菌）、VRE（バンコマイシン耐性腸球菌）、多剤耐性緑膿菌、多剤耐性アシネトバクター及びノロウイルスをはじめとした各種の病原体に起因する院内感染の発生や、医療技術の高度化による感染症に対する抵抗力が比較的低い患者の増加などから、医療機関においては、最新の科学的知見に基づいた適切な院内感染対策の実施が求められているところである。

院内感染対策については、個々の医療従事者ごとに対策を行うのではなく医療機関全体として取り組むことが重要であることから、全ての職員に対する組織的な対応方針の指示や教育等を行うことが重要である。

これらの状況を踏まえ、

- ① 院内感染対策に関して、地域において指導的立場を担うことが期待される病院等の従事者を対象とした院内感染対策に関する講習会を実施すること、
- ② ①の受講対象となる医療機関と連携し、地域における各医療機関の院内感染対策の推進を図ることを目的とした講習会を実施すること、
- ③ 高度な医療を提供する特定機能病院等の院内感染対策の推進及び近隣医療機関等への指導助言体制の充実を図ることを目的とした講習会を実施すること、

により、最新の科学的知見に基づいた適切な知識を伝達することで、わが国における院内感染対策をより一層推進することを目的とする。

2. 対象

- (1) 「1. 目的」の①については、院内感染に関して、地域において指導的立場を担うことが期待される病院等に勤務する医師、看護師、薬剤師及び臨床検査技師であって、院内感染対策について指導的立場を担う者として施設長の推薦する者。
- (2) 「1. 目的」の②については、地域の医療連携体制が求められる病院、診療所（有床、無床）、助産所等の医療提供施設に勤務する医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師であって、施設長の推薦する者。
- (3) 「1. 目的」の③については、特定機能病院において院内感染対策を実施する者であって、施設長の推薦する者。

3. 受講者の推薦及び決定

都道府県及び厚生労働省医政局国立病院課（以下「都道府県等」という。なお、国立病院課については、国立ハンセン病療養所に勤務する者の推薦に限る。）は、前項に定める対象のうちから院内感染対策の推進にあたって効果の期待できる者を推薦者として選考し、別紙1) による受講申込書を2部作成のうえ、厚生労働省医政局長に推薦するものとする。厚生労働省医政局長は、都道府県等から推薦のあった者のうちから受講者を決定し、都道府県等に通知するものとする。

4. 研修事業実施者

厚生労働省の委託により、社団法人日本感染症学会が実施するものとする。

5. 講習会場、講習定員及び講習時間

別紙(2)のとおりとする。

6. 講習内容

別紙(3)を標準とする。

7. 受講経費

受講者から受講料を徴収しないものとする。また、受講者の受講地への旅費、滞在費及び宿泊費については受講者側の負担とすること。

8. その他

受講するために必要な筆記用具等は、受講者が持参するものとする。

宿泊施設については、受講者において準備するものとする。

講習会テキスト（無料）等は、講習会当日、会場にて配布するものとする。

受講証書は受講者のうち、全講習時間の4分の3以上出席の場合に発行するものとする。

平成24年度院内感染対策講習会

<講習期間、講習会会場及び受講定員(医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師)>

① 地域において指導的立場を担うことが期待される病院等の従事者を対象とした院内感染対策に関する講習会

地 区	職 種	講習期間	講習会会場	住 所	対象都道府県
東日本 (東京)	医 師 (101名)	1月10日(木) 11日(金)	有楽町朝日ホール	〒100-0006 千代田区有楽町2-5-1	北海道、青森県、 岩手県、宮城県、 秋田県、山形県、 福島県、茨城県、 栃木県、群馬県、 埼玉県、千葉県、 東京都、神奈川県、 新潟県、富山県、 山梨県、長野県、 静岡県、
	看 護 師 (209名)	1月10日(木) 11日(金)	有楽町朝日ホール	〒100-0006 千代田区有楽町2-5-1	
	薬 剤 師 (108名)	1月10日(木) 11日(金)	有楽町朝日ホール	〒100-0006 千代田区有楽町2-5-1	
	臨床検査技師 (104名)	1月10日(木) 11日(金)	有楽町朝日ホール	〒100-0006 千代田区有楽町2-5-1	
	計 (522名)				
西日本 (神戸)	医 師 (89名)	1月28日(月) 29日(火)	神戸国際会議場 メインホール	〒650-0046 神戸市中央区港島中町6-9-1	石川県、福井県、 岐阜県、愛知県、 三重県、滋賀県、 京都府、大阪府、 兵庫県、奈良県、 和歌山県、鳥取県、 島根県、岡山県、 広島県、徳島県、 香川県、愛媛県、 高知県、山口県、 福岡県、佐賀県、 長崎県、熊本県、 大分県、宮崎県、 鹿児島県、沖縄県
	看 護 師 (191名)	1月28日(月) 29日(火)	神戸国際会議場 メインホール	〒650-0046 神戸市中央区港島中町6-9-1	
	薬 剤 師 (92名)	1月28日(月) 29日(火)	神戸国際会議場 メインホール	〒650-0046 神戸市中央区港島中町6-9-1	
	臨床検査技師 (86名)	1月28日(月) 29日(火)	神戸国際会議場 メインホール	〒650-0046 神戸市中央区港島中町6-9-1	
	計 (458名)				

※ 各地区毎の募集定員については病院病床数などを元に算出しています。

平成24年度院内感染対策講習会

<講習期間、講習会会場及び受講定員(医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師)>

② ①の受講対象となる医療機関と連携し、各医療機関の院内感染対策の推進を図ることを目的とした講習会

地 区	職 種	講習期間	講習会会場	住 所	対象都道府県
北海道・東北 (仙台)	医 師 (34名)	11月26日(月) 27日(火)	フォレスト仙台	〒981-0933 仙台市青葉区柏木1-2-45	北海道、青森県、 岩手県、宮城県、 秋田県、山形県、 福島県
	看 護 師 (102名)	11月26日(月) 27日(火)	フォレスト仙台	〒981-0933 仙台市青葉区柏木1-2-45	
	薬 剤 師 (37名)	11月26日(月) 27日(火)	フォレスト仙台	〒981-0933 仙台市青葉区柏木1-2-45	
	臨床検査技師 (36名)	11月26日(月) 27日(火)	フォレスト仙台	〒981-0933 仙台市青葉区柏木1-2-45	
	計 (209名)				
関 東 (東京)	医 師 (76名)	1月8日(火) 1月9日(水)	有楽町朝日ホール	〒100-0006 千代田区有楽町2-5-1	茨城県、栃木県、 群馬県、埼玉県、 千葉県、東京都、 神奈川県、新潟県、 富山県、山梨県、 長野県、静岡県
	看 護 師 (214名)	1月8日(火) 1月9日(水)	有楽町朝日ホール	〒100-0006 千代田区有楽町2-5-1	
	薬 剤 師 (89名)	1月8日(火) 1月9日(水)	有楽町朝日ホール	〒100-0006 千代田区有楽町2-5-1	
	臨床検査技師 (85名)	1月8日(火) 1月9日(水)	有楽町朝日ホール	〒100-0006 千代田区有楽町2-5-1	
	計 (464名)				
関 西 (奈良)	医 師 (62名)	11月21日(水) 22日(木)	奈良県文化会館 国際ホール	〒630-8213 奈良市登大路町6-2	石川県、福井県、 岐阜県、愛知県、 三重県、滋賀県、 京都府、大阪府、 兵庫県、奈良県、 和歌山県、鳥取県、 島根県、岡山県、 広島県、徳島県、 香川県、愛媛県、 高知県
	看 護 師 (184名)	11月21日(水) 22日(木)	奈良県文化会館 国際ホール	〒630-8213 奈良市登大路町6-2	
	薬 剤 師 (77名)	11月21日(水) 22日(木)	奈良県文化会館 国際ホール	〒630-8213 奈良市登大路町6-2	
	臨床検査技師 (71名)	11月21日(水) 22日(木)	奈良県文化会館 国際ホール	〒630-8213 奈良市登大路町6-2	
	計 (394名)				
九州・ 沖縄 (福岡)	医 師 (48名)	1月24日(木) 25日(金)	九州大学医学部 百年講堂	〒812-0054 福岡市東区馬出3-1-1	山口県、福岡県、 佐賀県、長崎県、 熊本県、大分県、 宮崎県、鹿児島県、 沖縄県
	看 護 師 (130名)	1月24日(木) 25日(金)	九州大学医学部 百年講堂	〒812-0054 福岡市東区馬出3-1-1	
	薬 剤 師 (47名)	1月24日(木) 25日(金)	九州大学医学部 百年講堂	〒812-0054 福岡市東区馬出3-1-1	
	臨床検査技師 (48名)	1月24日(木) 25日(金)	九州大学医学部 百年講堂	〒812-0054 福岡市東区馬出3-1-1	
	計 (273名)				

※ 各地区毎の募集定員については病院病床数などを元に算出しています。

平成24年度院内感染対策講習会

<講習期間、講習会会場及び受講定員（医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師）>

③ 特定機能病院の院内感染対策の推進及び近隣の医療機関等への指導助言体制の充実を図ることを目的とした講習会

地 区	職 種	講習期間	講習会会場	住 所	対象都道府県
全国 (横浜)	医 師	2月14日(木) 15日(金)	はまぎんホール ヴィアマーレ	〒220-0012 横浜市西区みなとみらい3-1-1	全都道府県の 特定機能病院
	看 護 師	2月14日(木) 15日(金)	はまぎんホール ヴィアマーレ	〒220-0012 横浜市西区みなとみらい3-1-1	
	薬 剤 師	2月14日(木) 15日(金)	はまぎんホール ヴィアマーレ	〒220-0012 横浜市西区みなとみらい3-1-1	
	臨床検査技師	2月14日(木) 15日(金)	はまぎんホール ヴィアマーレ	〒220-0012 横浜市西区みなとみらい3-1-1	
	計 (180名)				

講習内容

1. 院内感染対策に関して、地域において指導的立場を担うことが期待される病院等の従事者を対象とした院内感染対策に関する講習会

① 院内感染対策のシステム化・連携（講習時間：45分）

院内感染対策の進め方、マニュアルの作成、医療従事者の研修体制の構築、ICTの組織化と役割、情報提供の方法、地域の連携と感染対策のシステム化、サーベイランスの実施

② 院内感染関連微生物（新しい話題の感染症の種類と特徴を含む）（講習時間：45分）

各種関連微生物（細菌、真菌、ウイルス）の概要、耐性菌（MRSA、PRSP、VRE、MDRP、ESBL産生菌、多剤耐性アシネトバクター、KPC産生菌、NDM1産生菌等）、検体採取上の注意、細菌検査結果の読み方、臨床への情報提供の在り方、院内環境微生物検査等

③ 医療機関における感染制御の基本（講習時間：45分）

標準予防策、感染経路別予防策、隔離予防、易感染・免疫低下患者への対応、アウトブレイク時の対応等

④ 院内ラウンドの実際とそのポイント（講習時間：45分）

院内ICTラウンドの方法、チェックリストの作成と活用、リスクアセスメントとラウンドへの活用、コンプライアンスチェックの実際

⑤ 抗菌薬および消毒薬の使用と管理（講習時間：45分）

抗菌薬の選択・薬物投与計画（PK/PD等）、施設内アンチバイオグラムの作成、抗菌薬使用適正管理（耐性菌制御の観点を含む）、消毒薬適正使用と管理の在り方

⑥ 医療器材関連感染（講習時間：45分）

血管内留置カテーテル感染防止、尿路カテーテル感染防止、気管内挿管チューブの管理、吸引チューブの管理、ドレーンなどの管理

⑦ 呼吸器感染対策（講習時間：45分）

結核感染対策、人工呼吸器関連肺炎予防、麻疹・水痘・風疹・ムンプス対策、インフルエンザへの対応等

⑧ 周術期感染対策（講習時間：45分）

手術部位感染（SSI）防止、術野消毒法、手術時手指消毒、環境整備、手術室空調、患者の術前・術後管理、創部管理等

⑨ 血液媒介感染対策・職業感染対策（講習時間：45分）

B型肝炎、C型肝炎、HIV感染症等の予防体制、針刺し事例への対応、ワクチンプログラム、職員健康管理等

⑩ 院内感染対策に関連する環境整備（講習時間：45分）

環境の日常的衛生管理、病室環境の清浄化、寝具・リネンの取扱い、環境整備（汚物処理室、トイレなどの整備）、病室環境消毒、空調・換気の管理、アスペルギルス・レジオネラ対策等

⑪ アウトブレイク対応の実際（講習時間：45分）

早期検知・サーベイランスの実際、感染拡大防止対応、薬剤耐性菌（MRSA、VRE、MDRP、ESBL産生菌、多剤耐性アシネトバクター、KPC産生菌、NDM1産生菌等）感染対策、ノロウイルス感染対策、*C. difficile*感染対策、インフルエンザ感染対策など

⑫ 地域における感染対策のネットワーク構築（講習時間：45分）

情報共有化の実際（講習会の共同実施等）、感染対策の協力・連携（共通ガイドライン・ポスターなどの作成、共同サーベイランスの実施）感染対策の支援（コンサルテーション、アウトブレイク対応時等の支援）、地域における人材育成システム構築、行政との連携

⑬ 院内・施設内感染関連法令（講習時間：40分）

医療法、感染症法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律等

⑭ パネルディスカッション（講習時間：80分）

2. 1の受講対象となる医療機関と連携し、地域における各医療機関の院内感染対策の推進を図ることを目的とした講習会

① 院内感染対策のシステム化・連携（講習時間：45分）

院内感染対策の進め方、マニュアルの作成、医療従事者の研修体制の構築、ICTの組織化と役割、情報提供の方法、地域の連携と感染対策のシステム化、サーベイランスの実施

② 院内感染関連微生物（新しい話題の感染症の種類と特徴を含む）（講習時間：45分）

各種関連微生物（細菌、真菌、ウイルス）の概要、耐性菌（MRSA、PRSP、VRE、MDRP、ESBL産生菌、多剤耐性アシネトバクター、KPC産生菌、NDM1産生菌等）、検体採取上の注意、細菌検査結果の読み方、臨床への情報提供の在り方、院内環境微生物検査等

③ 医療機関における感染制御（講習時間：45分）

標準予防策、感染経路別予防策、隔離予防、アウトブレイク時の対応等

④ 高齢者介護施設における感染制御（講習時間：45分）

高齢者介護施設での感染対策、日常的衛生管理、高齢者の健康管理、感染症発生時の対応、施設の感染管理体制等

⑤ 洗浄・消毒・滅菌の基本と実際（講習時間：45分）

洗浄・消毒・滅菌の定義、洗浄の基本、消毒法の種類と特徴、各種消毒薬の種類と使用法、生体消毒・医療器具消毒の特徴、滅菌法の種類と特徴、滅菌物の取扱い等

⑥ 抗菌薬の適正使用（薬剤の選択と投与計画）（講習時間：45分）

治療薬の基本的使用法、抗菌薬の選択、薬物投与計画（PK/PD等）、血中濃度モニタリングの適応の実際（TDM）、抗菌薬使用適正管理等

⑦ 医療器材関連感染（講習時間：45分）

血管内留置カテーテル感染防止、尿路カテーテル感染防止、気管内挿管チューブの管理、吸引チューブの管理、ドレーンなどの管理

⑧ 呼吸器感染対策（講習時間：45分）

結核感染対策、人工呼吸器関連肺炎予防、麻疹・水痘・風疹・ムンプス対策、インフルエンザへの対応等

⑨ 血液媒介感染対策・職業感染対策（講習時間：45分）

B型肝炎、C型肝炎、HIV感染症等の予防体制、針刺し事例への対応、ワクチンプログラム、職員健康管理等

⑩ 周術期感染対策（講習時間：45分）

手術部位感染（SSI）防止、術野消毒法、手術時手指消毒、環境整備、手術室空調、患者の術前・術後管理、創部管理等

⑪ 院内感染対策に関連する環境整備（講習時間：45分）

環境の日常的衛生管理、病室環境の清浄化、寝具・リネンの取扱い、環境整備（汚物処理室、トイレなどの整備）、病室環境消毒、空調・換気の管理、アスペルギルス・レジオネラ対策等

⑫ アウトブレイク対応の実際（講習時間：45分）

早期検知・サーベイランスの実際、感染拡大防止対応、薬剤耐性菌（MRSA、VRE、MDRP、ESBL産生菌、多剤耐性アシネトバクター、KPC産生菌、NDM1産生菌等）感染対策、ノロウイルス感染対策、*C. difficile*感染対策、インフルエンザ感染対策など

⑬ 院内・施設内感染関連法令（講習時間：40分）

医療法、感染症法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律等

⑭ パネルディスカッション（講習時間：80分）

3. 高度な医療を提供する特定機能病院等の院内感染対策の推進及び近隣医療機関等への指導助言体制の充実を図ることを目的とした講習会

① 大規模施設における感染対策システムの構築（講習時間：45分）

感染対策チーム（ICT）の活動の実際、感染制御部・感染管理室の設置と運用、院内における情報の共有化、統合的感染制御策・ベストプラクティス（Bundle, High Impact Intervention等）の導入と活用、コンプライアンス向上への取り組み、職員健康管理・職員感染対策（ワクチンプログラム、針刺し事例への対応）

② 感染症サーベイランス・微生物モニタリングの実際（講習時間：45分）

各種感染症サーベイランス（血流、SSI、人工呼吸器、尿路等）の実施と活用・フィードバックの実際、微生物モニタリング（MRSA、VRE、MDRP、ESBL産生菌、多剤耐性アシネトバクター、KPC産生菌、NDM1産生菌などの各種耐性菌、*C. difficile*等）の実施と実際と活用・フィードバックの実際

③ 院内ラウンドの実際とそのポイント（講習時間：45分）

院内ICTラウンドの方法、チェックリストの作成と活用、リスクアセスメントとラウンドへの活用、コンプライアンスチェックの実際

④ 抗菌薬および消毒薬の使用と管理（講習時間：45分）

抗菌薬の選択・薬物投与計画（PK/PD等）、施設内および地域内アンチバイオグラムの作成、抗菌薬使用適正管理（耐性菌制御の観点を含む）、消毒薬適正使用と管理の在り方

⑤ 新興感染症への対応（パンデミックインフルエンザ対策を含め）（講習時間：45分）

新興感染症の検査・診断・治療、感染予防・感染対策、感染した可能性があるときの対応、地域医療体制等

⑥ 大規模流行を起こす感染症への対応（アウトブレイク対応）（講習時間：45分）

薬剤耐性菌（MRSA、VRE、MDRP、ESBL産生菌、多剤耐性アシネトバクター、KPC産生菌、NDM1産生菌等）感染対策、ノロウイルス感染対策、*C. difficile*感染対策、レジオネラ感染対策、インフルエンザ感染対策

⑦ 感染対策に関連する環境整備（講習時間：45分）

環境の日常的衛生管理、環境清掃の在り方、トリアージの観点からの環境整備、接触感染対策の観点からの環境整備（汚物処理室、トイレなどの整備）、飛沫・空気感染対策と換気機能・陰圧機能整備のポイント、病室環境消毒バイオセーフティの観点からの検査室整備

⑧ 感染対策教育・研修システムの構築と人材育成（講習時間：45分）

医療従事者等に対する教育研修システムの構築、カリキュラムの策定と各種教育用ツールの活用、教育研修効果の評価システムの構築、地域における人材育成

⑨ リスクコミュニケーション・メディア対応（講習時間：45分）

感染症に関するリスクコミュニケーションの在り方、患者・患者家族への具体的対応事例、地域住民へのリスクコミュニケーションの実際、メディア対応の在り方、メディアへの情報提供・情報公開の在り方

⑩ 感染対策における情報入手と活用法（講習時間：45分）

新興・再興感染症（インフルエンザ、ウイルス感染症、薬剤耐性菌感染症、腸管感染症、真菌感染症、バイオテロ等）に関する最新情報や感染対策の最新ガイドライン情報の入手と活用、情報ネットワークの構築

⑪ 地域における感染対策のネットワーク構築（講習時間：45分）

情報共有化の実際（講習会の共同実施等）、感染対策の協力・連携（情報伝達、チェックリストの作成とラウンドへの活用、コンプライアンスチェックの実際、共通ガイドライン・ポスターなどの作成、共同サーベイランスの実施）感染対策の支援（コンサルテーション、アウトブレイク対応時等の支援）、地域における人材育成システム構築、行政との連携

⑫ 院内・施設内感染関連法令（講習時間：40分）

医療法、感染症法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律等

⑬ 感染対策活動事例の紹介（講習時間：45分）

地域において指導的な役割をはたしている2施設の感染対策担当者による上記①～⑫の項目を含む施設における具体的な感染対策活動事例の紹介

⑭ パネルディスカッション（講習時間：80分）